

意見整理表

目的:「自分たちのまちは自分たちで創る!」を目標とした、興味・関心のための情報の共有であり、その為の情報発信の方法や情報共有のあり方を提言する

テーマ1:気づきや学びに繋がる情報について ～関心事項の多様化を意識して～

情報の出し手側の留意事項			情報共有の為の約束事	情報の受け手側の留意事項
提言のまとめ(H26)		審議項目		
①積極的で継続的な情報発信	有益でニーズのある情報について、多くの厳選された情報を積極的且つ継続的に発信すること。	○	・事柄の背景や解説など、丁寧な説明や積極的な情報発信が大切 ・年代、性別、家庭環境において関心事項が多様化している(無関心ではない)。	
	構想・企画・実施・評価という政策過程の各段階において、細やかな情報発信を意識すること。	○		
	無関心層へのアプローチの必要性も十分に意識して、効果的且つ粘り強く情報を発信すること。	◎		
②情報発信の 為の4事項の確認	情報発信の <u>目的</u> を明確にすること。	○	・高齢者ほど、紙媒体での情報が好まれる傾向にあり、電子媒体の生涯学習会が必要	
	伝えるべき <u>対象者</u> を明確にすること。	○		
	最適な <u>広報媒体</u> の選択と効果的な組み合わせを行うこと。	○		
	情報を発信する <u>時期</u> について意識し、発信のタイミングを見極めること。	○		
③情報にインパクトを持たせる構成や内容の工夫	情報にインパクトを与える4要素を意識すること。 ★伝えたい内容のポイントを絞る ★図表や写真、イラストを効果的に活用する ★事業の具体的なコンセプトを示す ★事業の『達成目標が見える化』する	○	・情報のジャンルは①ニュース、②背景・解説、③コラム(読み物)、④告知・お知らせ。情報の受け手に考えてもらう為には、①と②を強化。 ・Q&A形式で市民の疑問を丁寧に拾い上げ、市政だよりでフィードバックしていく	
	気づきや学びに繋がる内容となるよう検討すること。	◎		

意見整理表

目的:「自分たちのまちは自分たちで創る！」を目標とした、興味・関心のための情報の共有であり、その為の情報発信の方法や情報共有のあり方を提言する

テーマ2:行政の横の連携による情報発信について ～情報項目の効果的な組み合わせの為には～

情報の出し手側の留意事項			情報共有の為の約束事	情報の受け手側の留意事項
提言のまとめ(H26)		審議項目		
④情報の流れや浸透を意識した情報の発信	課を越えた行政同士の横の連携による情報発信を積極的に行うこと。	◎	・市政だよりの記事等で、見られる項目と見られない項目を組み合わせた情報の発信 ・市政だよりと区だよりの役割や伝える内容の住み分けが必要 ・局を越えた調整や本庁・区役所の連携した情報の発信	

課題:地域での「対話の場」や「学び機会」の創出について ～思いや考えの共有を図るために～

情報の出し手側の留意事項			情報共有の場に必要なこと	情報の受け手側の留意事項
提言のまとめ(H26)		審議項目		
④情報の流れや浸透を意識した情報の発信	校区自治協議会や市民活動団体など、既に存在するネットワークを有効に活用すること。	◎	・企業なども、情報浸透のために鍵を握る団体であるため、様々な団体のネットワークを活用すること	
⑤市民の学びの機会を充実	地域での説明会や出前講座の開催など、市民の学びの機会を充実させ、広報媒体での情報発信との効果的な組み合わせについて検討すること。	○		
⑥地域での対話の機会の創出	検討会や懇談会など住民等の対話・合意形成の場を、できるだけ地域に創っていくこと。	◎	・地域活動への参加が、高く評価される人事システムが必要	